

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年4月13日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691300018
法人名	社会福祉法人 百合砂
事業所名	グループホーム はまんだ
所在地	鹿児島県西之表市西之表6602番地1 (電話) 0997-23-3992
自己評価作成日	平成28年12月28日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年3月4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家庭的な雰囲気の中で入居者の皆様が喜びを感じながら生活出来るよう支援し、それぞれの好きな事を見つけ楽しく無理の無い生活ができるようにサポートしています。また行事などで積極的に外出する機会を作ったり、地域の方々や近くの幼稚園からの園児たちの慰問・老人会の方々の慰問などを通して、地域社会の一員としての喜びを感じられるよう支援しています。外出では季節の花を見に行ったり、ロケット打ち上げを見に行ったり、昼食を食べにお店に行ったり、今まで行った事のないような場所に出掛けてみたりと変化のある行事を組んで生活に楽しみを感じてもらえるよう努めています。日頃の支援では、その方の出来ることを最大限に引き出せるように声かけなどを工夫しながら支援しています。また、訪問看護ステーションとの医療連携体制をとり、週に一度の訪問看護、月に二度の担当主治医の往診によって入居者の方々の健康チェックに努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・利用者がその人らしく地域の中で生活できるように、暮らしの支援を支えている。
- ・地域で行なわれる運動会等の行事に参加したり、法人で開催の行事には地域住民の参加がある。近所の幼稚園児との交流や老人会の慰問・地域ボランティアの受け入れ等、日頃から地域との交流を行っている。
- ・本人らしいプラン作りに、情報を収集し課題分析をして介護計画を作成している。毎月の評価、半年に1回のモニタリングを徹底している。状態変化があれば見直しをしたり、更新月にも見直しをしている。
- ・消防署の指導のもと災害訓練を年2回実施している。地域の人にも協力を呼びかけている。防災グッズや水・米などの備蓄もある。ホームで自主訓練を積極的に実施している。夜間を想定したり津波を想定した避難訓練を計画している。
- ・管理者から職員へ声かけして意見や提案を聞くようにし、話しやすく、働きやすい職場環境になっている。毎月のミーティングや必要に応じて話し合いを持っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を一新して、職員が一体となって理念を共有し、理念に基づいた支援が提供できるように取り組みをしています。	利用者が地域の一員として生活できるように職員全員で理念を考え、事業所内に掲げ会議やミーティングで振り返りを行い、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事（運動会や祭り）に参加したり、ホームに地域の子供会が神輿担ぎに来て頂いたり、老人会やボランティアの方々が慰問に来てくださったりと地域社会と交流しています。	地域で行なわれる運動会等の行事に参加したり、法人で開催の行事には地域住民の参加がある。近所の幼稚園児との交流や老人会の慰問・地域ボランティアの受け入れ等、日頃から地域との交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	現状、地域の方々へ認知症の方の理解や支援の方法を発信はしていません。が、ボランティアの受け入れ、高校生の職場体験などの受け入れをしました。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回実施し、入居者の状況やホームの活動内容を報告し、地域の方や市職員から成る委員からも意見などが出て、それをサービスの向上に生かしています。</p>	<p>会議は定期的開催している。行事報告や利用者の状況・ヒヤリハット報告等を行い、意見交換をしている。地域代表の参加があり、地域活動についてホームからの要望にも快く受け入れてもらう等、サービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>市職員にも運営推進委員として参加していただき、事業所の実情などを報告し意見交換しながら協力関係を築くよう取り組んでいます。</p>	<p>市担当者に緊急時や事故発生時等、些細な事でも電話やFAXで常に連携を図っている。事業所の報告や困難事例等も報告して、アドバイスを得ている。市主催の研修会にも積極的に参加し、市職員との連携に努めている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束防止委員会で毎月各部署より事例を提供してもらい、ホームに持ち帰りミーティングで意見交換などを行っています。現在当ホームで身体拘束に当たる事例はありません。</p>	<p>法人で身体拘束防止委員会があり「身体拘束はしない」として定期的にマニュアルを基に研修会を開催している。ホームでも事例検討や勉強会を実施し、毎月ケアの見直しを行っている。言葉や抑制なども十分に注意している。玄関の鍵も昼間は開放し、自由な生活を支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人での研修や勉強会を通じて虐待防止や権利擁護等について学ぶ機会を作り、ミーティング等でも言葉遣いや対応について問題意識を持って取り組んでいます。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修会及びそれに関する資料により、制度について学べるようにしています。現在対象者はいません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約には十分に時間を掛けて説明を行い、質問や疑問などがあればいつでも尋ねることが出来るように配慮しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日頃から話しやすい雰囲気作りに心掛け、ご家族や入居者等から意見や要望が出た時は職員間で話し合い、改善等に向けて取り組むようにしています。	利用者とは気軽に自分の思いを話せる雰囲気作りに取り組んでいる。家族との面会の時は職員の方から話しかけ自宅にいた時の様子等を聞いている。家族交流会を年2回開催し、意見を聞く機会を作っている。宿泊希望がある家族の要望を受けたり、状態変化時には即連絡する等、運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日常的に意見を言いやすい環境作りに努めて、職員より意見などが出た場合は月1回のミーティングや必要に応じて話し合い改善していくようにしています。</p>	<p>管理者から声かけして意見や提案を聞くようにし、話しやすく、働きやすい職場環境になっている。毎月のミーティングや必要に応じて話し合いを持っている。休暇の希望を聞き可能な限り調整する等、職員の意見を運営に反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>2ヶ月に1回自己評価を実施し、自己を見つめ直す機会を作り、その上で4ヶ月に1回上司評価を行い、個々の能力に応じてやりがいが持てるように職場環境や条件の整備に努めています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の力量等に応じて、それぞれの研修会等に参加出来るようにしており、法人内での勉強会も定期的を開催しています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>県社協や老施協等が行う研修に参加出来る機会を設けて、同業者との交流が図れるように取り組んでいます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス開始前に要望等をお聞きし、入所後も不安なことや要望など無いかをご本人と話す機会を積極的に持っています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学时、申し込み、入居時と段階に応じてお聴きする機会を作っています。要望等には応えられるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	個々の状況に応じて時間を掛け、居宅支援事業所等との連携も図りつつ、支援を見極め他のサービス利用も視野に入れて対応しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者を共に暮らす家族のように尊重し、いつも同じ目線を持って対応する事でお互いに支え合う関係作りに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時や随時電話連絡などを通して情報の共有を図り、コミュニケーションを充実することで信頼関係を築き、共に支えあえるように勤めています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ドライブや地域行事への参加、地域の人達の慰問の受け入れなどを通して、馴染みの人や場所との関係を続けていけるよう支援しています。</p>	<p>馴染みの場所にドライブしたり店に行き、買い物を一緒にしたり希望を聞いて行きたいところに出かけている。馴染みの関係も聞いて会いに行くこともある。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者同士がお互いに会話が出るように支援したり、利用者同士で協力しながら作業ができるように支援しています。利用者同士の関係が大切と考えています。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約が終了したご家族との関係も持っています。契約終了ご家族から野菜の提供が合ったり、また街で見かけたりしたときは気軽に声を掛け合っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人やご家族から意向や思いを聞き取りアセスメントを充実することで利用者本位のケアプランに反映していくよう努めています。	利用者からの思いは、日々の生活の中で話しやすい雰囲気を作り、傾聴に努め気になる事など記録している。意思疎通が困難な場合は、家族からも面会するときなどに詳しく聞き、職員で話し合い本人中心の支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の本人様、ご家族等からの聞き取りや、居宅介護支援事業所からの情報収集で把握するように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	アセスメントの充実、日々の観察、日々の記録やモニタリングを通して総合的に把握できるようにしています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、ご家族、関係者の意見を聞き反映させるようにしています。また担当者会議等にて、訪問看護師からのアドバイスや介護スタッフからの意見やアイデアを聞き反映させるようにしています。	本人らしいプラン作りに、情報を収集し課題分析をして介護計画を作成している。毎月の評価、半年に1回のモニタリングを徹底している。状態変化があれば見直しをしたり、更新月にも見直しをしている。担当者会議で各職種からの意見も聞いて計画作成をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の生活や変化が把握・共有ができるように個別に記録を取り、介護計画の見直しや実践に反映しています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>変化やニーズに対して、既存の枠にとらわれずに柔軟に対応や支援ができる様に取り組んでいます。外出や外泊などにも柔軟に対応しています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進会議、地域の老人会、子供会などにも協力を頂きながら支援しています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入所時に十分な説明を行い、協力医療機関をかかりつけ医として、月2回の往診を行い適切な医療を受けられるよう支援しています。</p>	<p>入居時にかかりつけ医の希望を聞いて要望通りにしている。診療所開設に伴い、医療機関との連携が強化されている。24時間体制で看護師との連携も取れ、職員も安心して支援することができる。看取りの経験もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>協力体制にある医療機関の看護師や訪問看護師等に、変化や気付きがあれば報告相談し、受診指示があれば、ただちに受診に行けるようにしています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院された時は、スタッフが交代で面会に窺い、入院生活に不安を持たれないように配慮しています。早期退院についても、各関係者と情報交換を行い対応しています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に終末期の意向のお話や説明をしています。また早い段階から本人、ご家族、主治医、他関係機関それぞれのお話を伺い、方針を共有し対応しています。看取り指針マニュアルを作成し周知に努めています。</p>	<p>マニュアルや指針があり終末期に向け契約当初に話し合い、早い時点で段階的に家族や主治医と連携を取りながら確認書を取り交わしている。看取り指針マニュアルも作成され、常に変化する家族の気持ちにも柔軟に対応している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>法人で開催する救急救命士による応急処置初期対応の勉強会を年2回実施しています。なるべく全員が出席できるように配慮しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回避難訓練を実施し、非常時の非難に対応できる様にしていきます。運営推進会議の際に地域の方々にも協力をしてもらえようお願いしています。</p>	<p>消防署の指導のもと災害訓練を年2回実施している。地域の人にも協力を呼びかけている。防災グッズや水・米などの備蓄もある。ホームで自主訓練を積極的に実施している。夜間を想定したり津波を想定した避難訓練を計画している。地域住民や消防団との連携もあり、担架も備え付けてある。食料等も3日分程度ある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	それぞれの人格や性格を考慮しながら、言葉掛けや対応には誇りやプライバシーを損ねないように配慮しています。	人格を尊重し対応や言葉かけに注意を払っている。馴れ合いの言葉使いなど職員同士で注意し合っている。法人の研修会へ参加し、人生の先輩方に対する尊敬の気持ちを大切にしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その人にあった言葉掛けで意向を伺いながら、自己決定できる様に配慮しながら、サポートしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者中心の支援が大切ということを職員にも教育し、それぞれの思いや希望にそって支援できるようにしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	服装が選べる方はご自分で選んで頂いています。身だしなみやおしゃれについても本人の意向を考慮しながら支援できるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	最近料理を入居者の方々とする ことが出来なかったのですが、 これからは入居者と共に料理が 出来る体制作りに勤めています。 先日も入居者と一緒にシ チュー作りをしました。	栄養士からのアドバイスをもら い、栄養バランスや水分量など 考慮し、一緒に献立を作成して いる。野菜の皮むきをしたり、 食事の準備や食器洗い・片付け 等、一緒に行っている。地域か らの差し入れも多く、楽しい食 事で利用者から喜ばれている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分摂取量等を チェックし把握に努めていま す。食事がとれにくくなった方 には管理栄養士と相談して栄養 補助食品などの提供もしていま す。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、ひとりひとりに声かけ しながら口腔ケアを実施し、ご 自分で出来ない方には職員によ る口腔内の清掃をしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表にてひとりひと りの排泄パターンを把握し、声 かけや誘導でトイレにて排泄で きる様にしています。	利用者に昼間はトイレ誘導を行 い排泄の自立支援を促してい る。排泄の失敗があっても周り に気づかれないように対応して いる。排泄チェック表の活用や 声かけ誘導にて失禁を少なくす ることができている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘になりやすい人には、排泄 パターンを考慮しながら、下剤 の服用も視野に、普段の食事 には乳製品やご飯に麦を混ぜる などで繊維の多い食材も摂って いただき、便秘改善に取り組ん でいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	健康状態を確認し、入浴の意向を伺いながら支援しています。夕方に入りたい方、毎日入りたい方など個々の希望にも対応しています。	毎日入浴する利用者がいたり、希望があれば対応できるようにしている。入浴を拒む利用者には、声かけするタイミングを伺ったり、時間をずらしたり工夫することで安心して入浴ができています。入浴剤も使用しており入浴を楽しんでいる。無理強いはしないようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活習慣を大切にし、それぞれのペースで自由に過ごして頂けるように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋ファイルを作成し、スタッフがいつでも確認できるようにしています。変更等があった場合は連絡帳にて周知を図っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入所時の調査で趣味や嗜好品などをお聞きし、ホームの生活でもできる様に支援しています。時代劇が好きだった方には時代劇を録画して観ていただいたりしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>それぞれの意向を伺いながら、外出したい人には積極的にドライブや買い物に出掛けられる様に支援したり、ご実家を確認したいと希望があれば連れて行けるように支援しています。</p>	<p>日常的に散歩をして近所の人と顔馴染みになっている。その日の外出希望を聞いて法人の福祉車両を活用し、市外にもドライブに出かけたりしている。重度の利用者も外出している。自宅付近に出かけたり、家族と墓参りや美容室に出かけたり外食を楽しんだりしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>常時金銭所持が難しくなっているので、行事に買い物を計画して、ひとりひとりにお金を持っていただき買いたいものを買っていただいたりしています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話をしたいという方がいれば、支障のない時間であれば本人の希望に応じて掛けていただいたり、手紙が書きたいという方にはいつでも書けるように支援し、投函出来るように支援しています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節感を感じていただけるように、季節の花を飾ったりしています。共有の空間でもゆっくり居心地良く過ごせる様になっています。</p>	<p>共用空間は適度な明るさで空気清浄機・加湿器一体型の設置により空気の調整が行われ快適な環境で過ごしている。インフルエンザの発症もない。季節の飾り付けや野外活動の様子が壁に掲示されて、外来者からの感想や意見が寄せられている。利用者は好きな場所でゆっくりと居心地よく過ごしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>限られたスペースの中でいくつもくつろげるスペースがあるという訳ではないですが、個々がゆっくり過ごせるように椅子をあちこちに置いたりして工夫しています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅で使用していた使い慣れたもので生活できる様に、ベッドや家具などはご自分のものを持ってきて頂き、掛け軸など普段よく見ていたという物は本人の意向をお聞きしながら配置して心地よく過ごすことができる様に工夫しています。</p>	<p>居室は本人や家族と相談しながら、小物の持ち込みがあり個別に特徴がある。仏具や家族の写真などが飾られ、それぞれ整理され落ち着いた部屋になっている。テレビや筆筒・ベッド・掛け軸等があり、利用者が納得するよう職員が一緒になって模様替えをしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ホールやトイレ、浴室等手摺りを取り付けて、本人の出来ることを活かしながらサポートしています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		4 ほとんどいない	

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない